

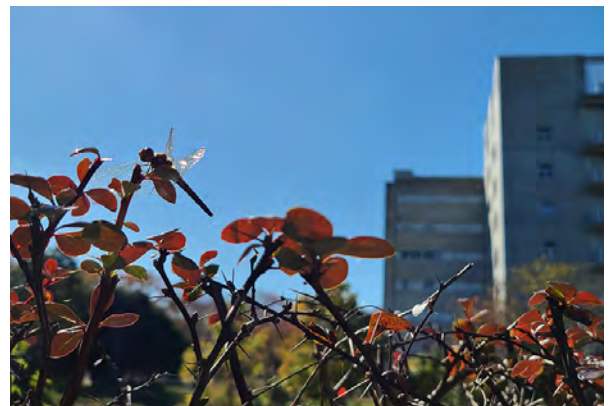


OG/OB と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

## INDEX



1. 『3年ぶりに対面で実施された雙峰祭に参加したルポ』 / 北川瑠菜  
学生の熱気あふれる2日間
2. 『つくば霞ヶ浦リンリンロードを“走る”』 / 中村瑞歩  
足で“走る”からこそ見えること
3. 『突撃！筑波大生の昼ご飯』 / 後藤佳怜  
学食の行列、芝生日向ぼっこ…2022秋の昼休みの風景をお届け！



# 1. 3年ぶりに対面で実施された雙峰祭に参加したレポ 学生の熱気あふれる2日間



第48回筑波大学学園祭（雙峰祭）が、11月5日（土）、6日（日）に3年ぶりに対面開催されました。今年は対面開催エリアへの入場やステージ企画の観覧に事前予約が必要でした。また、感染対策として手指消毒や検温が実施され、食事は各企画が用意したスペースでのみとし食べ歩きは禁止でした。加えて、受付で渡されるリストバンドを着用した人のみが入場できるようにするなど、例年とは異なった工夫がされていました。今回は、コロナ禍で実施された雙峰祭に参加し、そのルポを書きたいと思います。



配布されたリストバンドとパンフレット  
(そぼたん可愛い)



秋晴れの空と雙峰祭の旗

私は今4年生なので、1年生の時以来の対面の雙峰祭でした。多くの人で賑わっているキャンパスを見て、コロナ禍以前の生活を少しずつ取り戻している実感が湧いて、うれしくなりました。



来場者で賑わう人間系学系A棟前



UNITED ステージのバンド演奏に聞き入る観客

5日の14時頃に5C棟で実施された芸術祭実行委員会による「芸術祭フリーマーケット」に行きました。芸術専門学群の学生らが制作した作品やグッズを購入することができます。個性が光る素敵な作品ばかりで、私はアザラシの小皿や陶器のイヤリングなど8つを購入して、3500円ほど使いました。制作者の学生とお話できたり、ここでしか買えないオリジナルな作品と出会え…素敵な空間だなと思いました。



芸術祭フリーマーケットの会場の様子



茨城にいなから広島名物を味わえました

5日15時頃。どの飲食系の企画も魅力的だったのですが、その中でも広島県人会による「揚げもみじ饅頭」の企画を訪れてみました。修学旅行で広島に行った時にもみじ饅頭は食べたことがあるのですが、揚げもみじ饅頭は初めてで惹かれました。一つ300円、二つなら500円で、つぶあん、こしあん、抹茶、チョコ、クリームの5種類でした。私はチョコ、友人はつぶあんを選びました。熱々で外はサクサク、中はしっとりしていてとてもおいしかったです。

6日の後夜祭では「お笑いライブ」や「雙峰祭グランプリ」、「TSUKUBA COLLECTION 2022」などが行われました。雙峰祭グランプリはステージ企画（1AステージやUNITEDステージ、オンラインステージで実施されたライブやパフォーマンスなど）と一般企画部門の部門それぞれで投票し、人気企画を決めるものです。学生団体らが受賞する様子を見ながら、対面の雙峰祭を経験している学生が少ない中で、試行錯誤しながら企画運営やステージパフォーマンスの練習に取り組んだのだろうと、しみじみとしてしまいました。



雙峰祭グランプリで受賞した上位8団体の代表者がステージに並ぶ

ラストを飾ったのは後夜祭花火。第1部は、筑波大附属病院で闘病中の子ども達が「夢の花火」というテーマで描いたイラストを本物の花火にして打ち上げる「ゆめ花火」でした。第2部は「フィナーレ花火」、King Gnuの「飛行艇」に合わせた迫力のある花火が打ち上げられました。イベント後の切なさと言いますか、現実に戻った感がつらかったですが、それだけ楽しかったということだと思います。大学生活最後に雙峰祭に参加できて、学生の熱気や工夫を凝らしたさまざまなアイデアに触れられて、ほくほくした気持ちになりました。



フィナーレ花火で盛り上がりを見せた時の様子

【参考文献】

・ 雙峰祭公式サイト (<https://sohosai.com>)

・ 雙峰祭電子パンフレット

(<https://pub-7a34cdfbea8e48038e8795102c190a04.r2.dev/pamphlet2022.pdf>)

(人文・文化学群 比較文化学類4年 北川瑠菜)

## 2. つくば霞ヶ浦りんりんロードを“走る”

足で“走る”からこそ見えること



読者の皆様こんにちは。つくばは11月に入ってからますます寒くなってきました。さて、一般的に秋といえば、「スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋」ですが、皆様はどの「秋」がお好きでしょうか。私は、生まれてこの方、スポーツは苦手と体育の授業などもあまり楽しんでいませんでした。

しかし、大学院生になってから、コロナ禍も相まって運動不足に。体重も数kg増えてしまいました。「大学院生は体力から」と言いますが、その対策として去年から始めたのがランニングです。気分転換に走り始めてはや1年。スポーツの秋にかこつけて、力試しにゆるっとハーフマラソンをしていきたいと思えます。

コースは、つくば霞ヶ浦りんりんロード（以下、「りんりんロード」）。大正7（1918）年から昭和62（1987）年の約70年にかけて、筑波山神社への参拝者を運んだ旧筑波鉄道を新たに整備したサイクリングロードです。令和元年の11月には、「世界に誇りうるサイクリングルート」であるナショナルサイクルルートにも指定されています。一応、歩行者・自転車専用道路となっているのですが、猛スピードで走る自転車とぶつからないように、道路の一番左側を走っていきます。

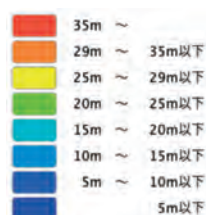
来る10月30日（日）午前10時、気温14度。いよいよ自宅からスタートしました。自宅はつくば市桜にあるので、しらかし通りを抜けて藤沢荒川沖線を走っていきます。自宅からりんりんロードの入り口まで概ね4kmほど。天気は爽やかな秋晴れで心地よいのですが、そこそこつらいです。

ところで、桜の通り沿いの鹿島神社あたりから始まる坂を降りきって、見上げると桜や大学のある天王台がきれいな台地になっていることがわかります（写真1：図1）。たまに振り返って風景を楽しめるのも自分の足で走っているからこそでしょうか。



写真1 坂の下から見た桜地区（筆者撮影）

図1 標高図  
(地理院地図より筆者作成) (筆者撮影)



さて、約35分が経過したところで、ようやくりんりんロードにたどり着きます。眺めてみると、鉄道の線路跡を利用しているだけあって、どこまでもまっすぐです（写真2）。これが、土浦から筑波山の麓までをつないで、多くの参拝者や観光客を乗せて走っていたかと思うと歴史を感じさせるものであります。



写真2 まっすぐ伸びるりんりんロード（筆者撮影）

そこから少し走ったところにあったのが、旧田土部駅です（写真3）。旧田土部駅は、同名の集落の近くに作られた筑波鉄道の駅です。現在では、サイクリストが足を休める休憩所となっています。某フリー百科事典によれば、サイクリストや、（数少ない）ランナーに木陰を作る大木は、廃線前から生き続けてきたものらしいです。



写真3 旧田土部駅（筆者撮影）

少し、足を休めてまた走り出します。これ（写真4）は、途中で撮った写真なのですが、遠景としての筑波山、そして自分と筑波山の真ん中に存在感を主張するような宝篋山（ルビ：ほうきょうさん）の三者のバランスがとても好みの1枚です。視点が線路からサイクリングロードへと移り変わってはいますが、今から数十年の前の人たちも、同じような景色を見ていたのでしょうか。



写真4 宝篋山（手前）と筑波山（奥）（筆者撮影）

しかし、折り返しにも達しておらず、まだまだ道は長いです。そこからひたすら走っていき、ようやく見えてきたのが、小田城跡。小田城は、ご存知の方も多いとは思いますが、南北朝時代に南朝方についた公家の北畠親房が歴史書『神皇正統記』を著した場所で、戦国時代には、幾たびも落城しては小田氏が奪還した「最弱の城」としても有名です。また、それ以上に、私にとって興味深いことは別にあります。前回のペデジャーなるでも言及した通り、私は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を毎週欠かさず視聴しているのですが、その登場人物の1人の八田知家が常陸守護として居館を構えたことが、小田城の始まりとされています。今年の大河ドラマが始まるまでは、南北朝時代以降のことばかり有名で、それ以前の歴史はかなりマイナーだったのではないのでしょうか。

小田城跡のすぐ近くには、小田城の歴史を紹介するミニ博物館のような小田城跡歴史ひろば案内所（写真5）があります。これも、旧筑波鉄道の駅の跡が再利用されている施設です。かつての余韻が感じられる再利用のあり方はいわゆる“エモい”ってやつなのでしょう。現在は「鎌倉殿の御家人『八田知家』とつくば」で、件の八田知家にフォーカスされた企画展が行われていました。ちなみに前段落の内容もこの企画展で知ったことです。走るの是不慣れなので、こうして取材も同時に行いつつ、時々自分を甘やかしつつ走ることが、楽しく走るコツだと思います。



写真5 りんりんロードから見た小田城跡歴史ひろば案内所（筆者撮影）

小田城を過ぎて10分ほど走ったあたりで約10kmです。ここから折り返して約20km、ハーフマラソンにちょうどいい距離になります。かなり疲れてきたので、これ以上は進まず折り返すことにします。走っているのは同じりんりんロードなのですが、往路と復路で見える風景が全く違うのは、当然のこととはいえ面白かったです。自宅に帰り着いた時点で、距離は20km弱、タイムは2時間30分ほど。ゆっくり走ったり、企画展で休憩しながら進んでいたのも、こんなものでしょうか。かなりグダグダなハーフマラソンになってしまいましたが、景色を楽しんだり、昔の筑波の姿に思いを馳せることができたのは、自分の足でゆっくりと走っていたからだと感じています。最近では自転車や車での移動が多かったので、たまにはこんな休日もいいのではないのでしょうか（このあと市内の温浴施設に行って、ビールで自分を労いました笑）。

（生命地球科学研究群 地球科学学位プログラム2年 中村瑞歩）



### 3. 突撃！筑波大生の昼ご飯

学食の行列、芝生日向ぼっこ…2022 秋の昼休みの風景をお届け！



秋学期に入り、対面授業が大幅に増えました。筑波大学新聞第 373 号によると、(オンライン併用も含む) 対面授業割合が 8 割近くになったそうです。大学を歩いていると、人通りと自転車の量が春学期とは全然違うと感じます。

昼休みの学食にはなんと行列が。こんな風景久しぶりだろう、と 18 年度入学の私はうれし懐かしい気持ちでテンションが上がりました。

賑わう秋のキャンパスで、筑波大生はどんなランチタイムを過ごしているのでしょうか。突撃取材しました！

#### ■「3食」跡地で研究室仲間と

第三エリアにあった第三学群食堂は 2020 年 7 月に閉店。跡地はフリースペースとして解放されています。

カレーやパスタなど、思い思いのメニューを囲む集団を発見。ゼミの後に研究室のメンバーでお昼を食べにきた、社会工学類・社会工学学位プログラムのみなさんです。



#### ●カツカレー特盛

修士 2 年の今井巧さんはカツカレー特盛をチョイス。

「今日はカレーの気分で、たくさん食べたいなと思って特盛にしました。頼む度に量が多くて後悔しているんですが、毎回食欲に勝てず特盛を頼んでしまいます」

#### ●めんたいスープパスタ

修士 1 年の川上諒一さんは、「粉とクリーム」のめんたいスープパスタを選んだそう。

「昨日も粉クリに来たけれど、パスタメニューの半分近くが売り切れていて食べられなかった。今日はリベンジ成功です」味の感想を聞くと、「できたてで熱いし、最後はパンが追い打ちをかけてくる」と答えていただきました。粉クリのパスタ

ランチには手のひらサイズのパンが付いているので、しっかりお腹いっぱいになれるメニューのようです。

#### ●最近の楽しみは？

今井さんたちの最近の楽しみは、研究室のメンバーでスプラトゥーンをすることだそう。「11月のスポーツ・デーのeスポーツ部門に参加するので、みんなですっかり練習をしています」と気合十分。「研究より大事（笑）」と冗談を言うメンバーもいました。仲が良い素敵な雰囲気のみなさんでした。

#### ■修士論文の合間にランチ

お次は第二エリアの第二学群食堂へ。雙峰祭の翌日で授業が無い日だったため、混みすぎず丁度いい賑わい度でした。

#### ●とりつくね・納豆・味噌汁の健康ランチ

生物資源科学学位プログラムで修士2年の上原礼佳さんが選んだのは、単品おかずのとりつくねと納豆に、ご飯と味噌汁のセット。昼食は研究室で食べる事が多く、この日は珍しく学食を訪れたそうです。

「修士論文の中間締め切りが迫っていて、毎日8～12時間くらい研究室にこもっています。研究分野が『クオラムセンシング』という微生物に関するテーマで、実験しないと研究が進まないなので今は実験に追われる日々です」



上原さんは普段、簡単なお弁当を用意しているといいます。

「冷凍ご飯を1食分に小分けしてストックし、朝ご飯の残りをおかずにしめます。お惣菜だけスーパーやコンビニで買う時もあります。経済的で準備にも手間がかからず、効率の良いお昼ごはんになるのでおすすめです」

#### ■午後のゼミに備えて

同じく第二学群食堂で、構造エネルギー工学学位プログラムに所属する2人組にもお話を聞きました。

### ●タンドリーチキン定食

修士2年の猪野健太さんはタンドリーチキン定食をチョイス。「揚げ物が好きで最近食べすぎてしまっていたので、油物を避けて胃に優しいメニューを探すと、消去法でこれになりました。しっかりカレーの風味が効いてて美味しく、満足です」



### ●野菜入りメンチカツ定食

修士1年の田淵良太郎さんがメンチカツ定食を選んだ理由は「代謝が良くてすぐお腹が空いてしまうので、カロリー高め&量多めなものが食べたかったから」だそうです。趣味でボルダリングや自転車などのスポーツをしている田淵さん。猪野さんは「彼は自分達の研究室の中で1、2を争う大食い」と評します。ちなみに田淵さんが1番気に入っているのは、チキンカツカレー超特盛だそうです。(筆者は特盛の上に超特盛が存在することを知りませんでした…胃袋強い!)



### ■第一学群食堂でお揃いの豚キムチ丼

数年前に新しくなったA棟1階の1学食堂。秋晴れの日差しが差し込む中で、同じ丼ぶりを食べながら談笑する3人に話を聞きました。3人は化学類の3年生で、昼休みを挟んで授業がある日に週2~3回、学食を利用するそうです。

### ●豚キムチ丼、いかがですか？

松澤里純さん「辛いものが好きなんですけど、味付けが適度な辛さで、お肉は甘めでおいしいです」  
武藤美佑さん「この丼ぶり一杯食べると、しっかりお腹いっぱいになります」

この日3人が同じメニューを選んだのは偶然だそうです。牧田見晴さんは「入口でメニューを選んでいて、1番心惹かれたのが豚キムチだった。頼んでみたら、たまたま3人揃ってました」と話します。食のチョイスまで仲のいい3人でした。

## ■マルハバンの行列

2B棟1階の人気店、マルハバンも覗いてみました。

訪れたのは11月9日の12時半頃で、昼休みの時間は過ぎていたのですが、まだ行列になっていました。お腹が空いたので、筆者も頼んでみることに。2~3年前から気に入っている「チキンオーバーライス」を買いました。マルハバンはテイクアウト限定なので店内で自分の番号が呼ばれるまで待つのですが、混んでいたこともあって10分ほどかかりました。



## ●かがやくチキンオーバーライス！

シャキシャキレタスやトマトなどの生野菜が取れて、お腹いっぱいになれるこのメニュー。昨今の価格高騰の影響で少し値上がりして580円になっているので、私にとっては贅沢ランチです。

天気が良かったので、石の広場のベンチでゆっくり食べました。噴水の前の芝生では、スターバックスの秋の新作を飲む学生や、日本語・英語・中国語(?)の3言語を交えながら会話する留学生らしき方など、色んな人が座り込んで日向ぼっこを楽しんでいました。まだ寒さが厳しくない、秋ならではのお昼休みの過ごし方ですね。





## ■賑わいの一方、切なさも・・・

昨年、一昨年の閑散としていた食堂とは一変し、学生・教職員でごった返していたコロナ禍前の風景に近づいてきました。

ですが、一度閉まってしまった食堂の跡地に新店舗が入ることはなく、物寂しさも感じます。第二学群食堂で出会った田淵さんは「秋学期になってから食堂がすごく混雑してしまう。第三学群食堂はメニューも豊富で居心地が良かった。お店の選択肢が減ったのは悲しい」と残念そうに話していました。

私も、入学当初はよく友達と「2食にする？3食にする？」と、ランチ選びを楽しんでいました。あれから約4年、今は無き「3食」跡地でカップ麺を食べながら、この記事を書いています。賑わいが戻ってきたうれしさと、コロナ禍がキャンパスライフに与えた影響の切なさの両方を感じた取材でした。

(社会・国際学群 社会学類4年 後藤佳伶)

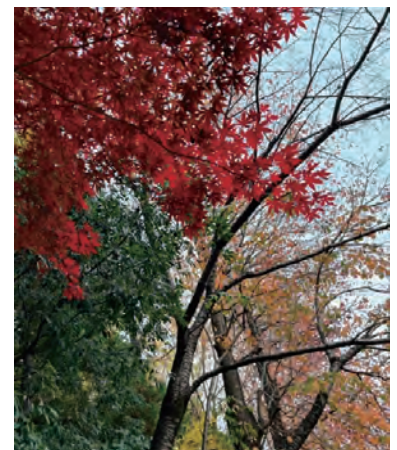


## 編集後記

朝晩はめっきり寒くなってまいりました。読者の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。最近、春日4丁目あたりを散歩していると、紅葉の赤色、イチョウの黄色、緑の葉という信号の配色に似たスポットを見つけました。1枚の写真におさめられたので読者の皆さまにも共有させていただきます。私は卒論を12月末に提出する予定なのですが、進捗があまり芳しくありません。卒業に赤信号がともしそうなのでそろそろ気合を入れて頑張りたいなと思っている今日この頃です。

今号は、3年ぶりに対面開催された雙峰祭に参加したルポ、スポーツの秋にかこつけてつくば霞ヶ浦りんりんロードを走ってみたというもの、賑わう秋のキャンパスで筑波大生はどんなランチを食べているのか突撃取材したものの3記事でお送りしました。コロナ禍の筑波大の空気感、秋のつくばを少しでもお届けできていれば幸いです。最後までお読みいただきありがとうございました。

(人文・文化学群 比較文化学類4年 北川瑠菜)





## 第25回（令和4年度）ホームカミングデー 3年ぶりに対面での開催に！

11月5日（土）、第25回（令和4年度）ホームカミングデーを開催しました。

本学ホームカミングデーは、卒業後20年（医学専門学群においては、卒業後18年）を迎えた筑波大学・図書館情報大学の卒業生・修了生及びその家族を招待し、本学卒業生・修了生同士と教職員との交流を深め、本学の一層の発展に資することを目的として平成10年度から開催しています。

令和4年度は、3年ぶりの対面開催とし、コロナ禍によるオンライン開催となった第23回、第24回の対象学年の卒業・修了生も招待し、総勢350人を超える卒業生やそのご家族や教職員の皆様に参加され、懐かしい友人や恩師との再会を楽しみました。



大勢の来場者で学長を囲んで記念撮影



久々の再開でマスク越しでも笑顔に



筑波大学クイズ 筑波ふしぎ発見



大人気のコズミくん



インタビュースペースにて

オンライン企画（各動画は以下のリンクからご覧いただけます。）

対対象者 拡大しました!!

筑波大学 卒業生・修了生

令和4年 11月5日 (土) 13:00 ~ 15:00

3年ぶり 対面開催

筑波大学 第25回

ホームカミングデー

Home Coming Day University of Tsukuba

世界を虜にする筑波の魅力へご招待  
筑波大学クイズ 筑波ふしぎ発見!

留学生の学生生活に密着  
Youは何しに筑波へ?

現在の学生の宿舍活用法は?  
宿舍、ついて行ってイイですか?

2023年10月に迎える  
創基151年開学50周年記念ムービー

サッカー三笥選手インタビュー

お笑い芸人ザ・マミーインタビュー

オンライン企画 登録不要! 誰でも見られます!

筑波ふしぎ発見!

宿舍、ついて行ってイイですか?

ザ・マミー

Youは何しに筑波へ?

三笥選手

151 創基151年 筑波大学50周年記念 50th Anniversary of University of Tsukuba

※新型コロナウイルスの感染状況等によっては、内容が変更となる場合があります。

- 1 宿舍、ついて行ってイイですか?
- 2 YOUは何しに筑波へ?
- 3 お笑い芸人ザ・マミーのインタビュー
- 4 筑波大学クイズ 筑波ふしぎ発見
- 5 サッカー三笥選手のインタビュー
- 6 創基151年開学50周年記念ムービー

<https://youtu.be/ID8r14jwM94?t=1170>

<https://youtu.be/ID8r14jwM94?t=1852>

<https://youtu.be/ID8r14jwM94?t=2470>

<https://youtu.be/ID8r14jwM94?t=3370>

<https://youtu.be/ID8r14jwM94?t=4709>

<https://youtu.be/ID8r14jwM94?t=5635>



第25回ホームカミングデー委員会

## Twitter、Facebook で筑波大学の情報を発信しています

事業開発推進室では、大学や在学生の「今」を伝えるため卒業生に向けて Twitter、Facebook でも情報を発信しています。

学生の様子、学内の景色や、大学の取り組みなどはもちろん、在学生・卒業生が交流できるような企画を増やしていきます。

卒業生が楽しんでいただけるお知らせやその他イベントについても告知していきますので、ぜひフォローをお願いいたします。発信してほしい情報がありましたらお知らせください。



🍷 筑波大学大学基金 <https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>

🍷 筑波大学アプリ「TSUKUBA FUTURESHIP」<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/futureship.app/>

🍷 日経 VR「オープンキャンパス360～筑波大学～」

[https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/NIKKEI\\_VR/](https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/NIKKEI_VR/)



Tsukuba Futureship (筑波大学) Facebook



TSUKUBA FUTURESHIP (筑波大学公式) Twitter





# 大学評判アンケートへのご協力をお願い

近年、社会的に話題になることが多い世界大学ランキングのひとつに、英国クアクアレリ・シモンズ社（QS社）が発表するQS世界大学ランキングというものがあります。このランキングでは、研究者や企業の方に大学の評価を問うアンケート調査が行われており、その結果が順位に大きく影響します。卒業生の皆様におかれては、ぜひこのアンケート調査へご参加頂き、母校の国際評判向上のためにご協力をお願いいたします。

現在、アンケート回答のための事前エントリーを、下記フォームで行っておりますので、ご登録をよろしくお願いいたします。

## 大学評判アンケート参加登録フォーム

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/governance/regi/qs-survey-alumi.html>

（筑波大学ランキング対応チーム）



- 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室
- ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1  
TEL：029-853-2030 FAX：029-853-6576



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。 ©2022 University of Tsukuba.

「ペデジャーなる」のバックナンバーはこちらから  
筑波大学メールマガジン『ペデジャーなる』（tsukuba.ac.jp）

配信先・ご住所などの変更は以下のフォームよりご登録をお願いいたします

登録フォーム <https://forms.office.com/r/0ndsbfM04q>